



椎茸普及指導情報 第40号

第7回東部地区乾椎茸品評会は皆様のご協力のおかげで、無事盛況に終わることができました。ありがとうございました。後のページでご紹介させていただきます。
これから暑い時期に入ります。作業されるときは熱中症などに十分注意して下さい。

1 気象情報

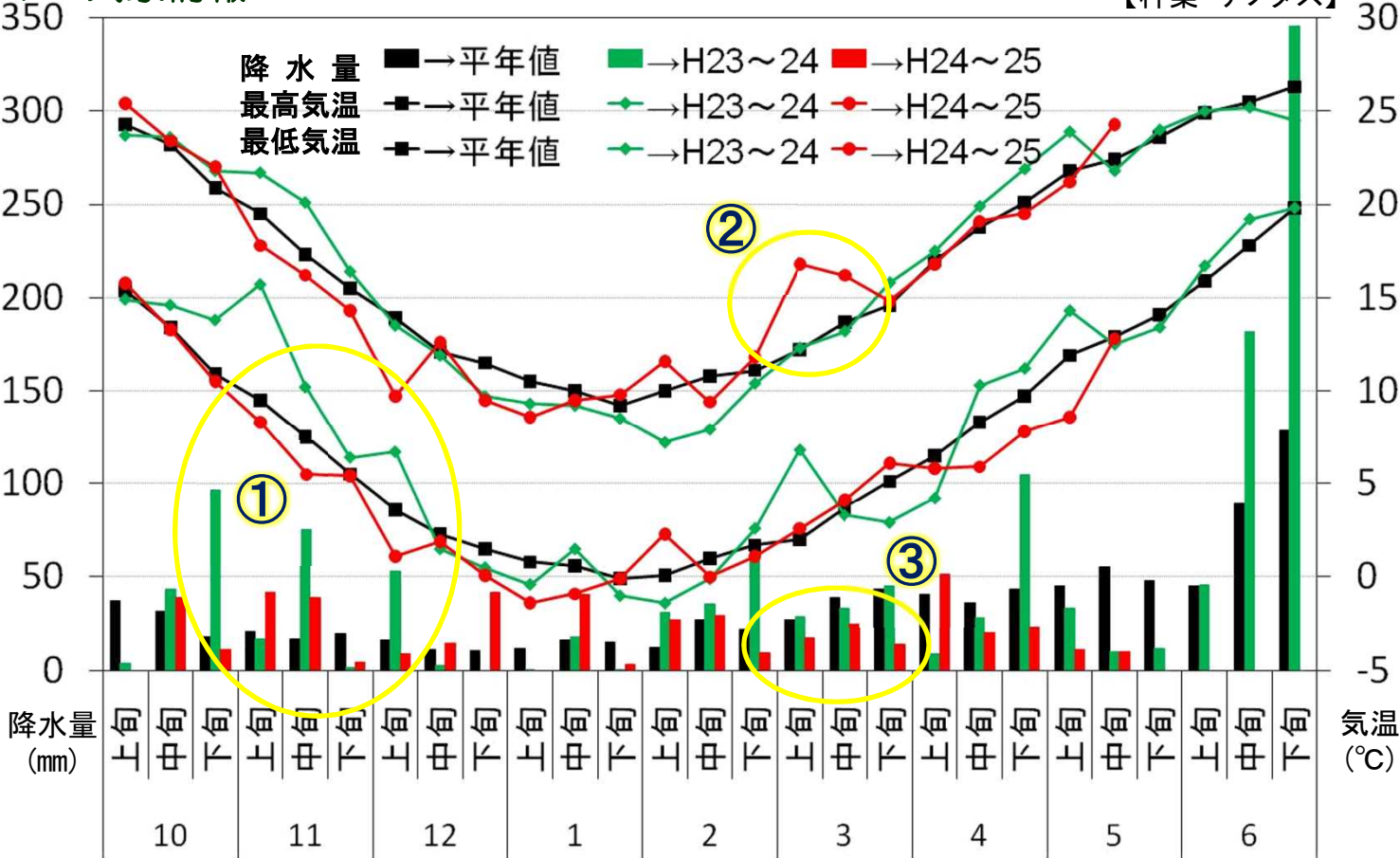


図1 旬別気温及び降水量(杵築)

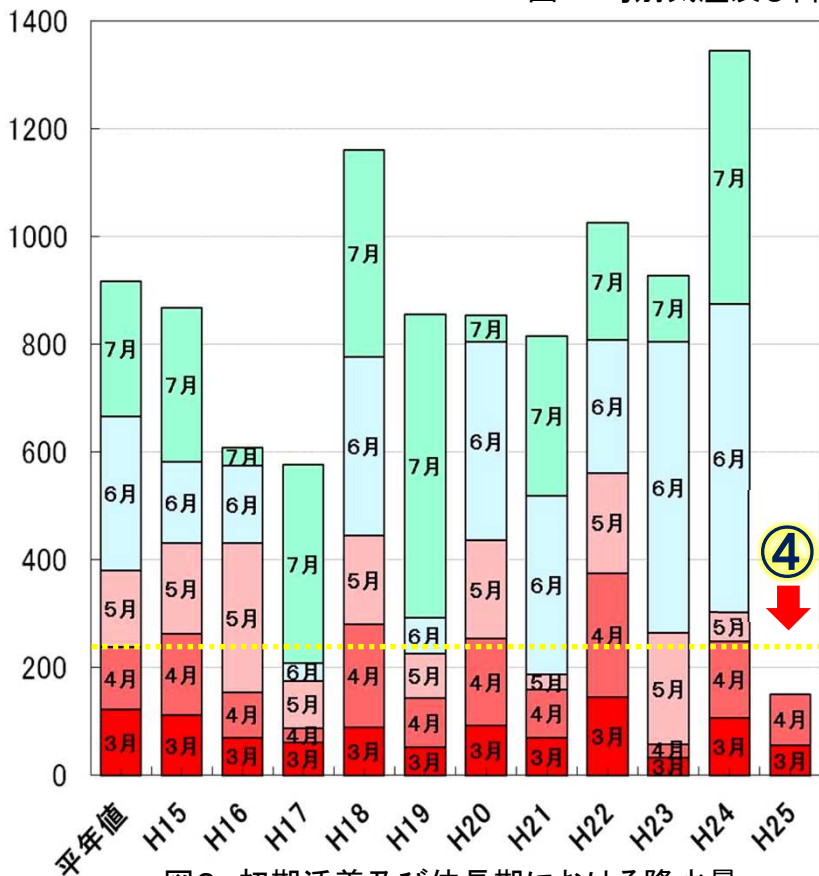


図2 初期活着及び伸長期における降水量

◆今期の発生状況

秋子については、降水量が概ね平年並みで、最低気温、最高気温ともに順調に低下した(図1①)ため、豊作となったところが多かったようです。

3月の気温は平年より高く(図1②)、降水量は少ない気象条件(図1③)で推移し、大分市のソメイシノの開花日は観測史上最も早いものとなりました。4月に入ってからまとまった降雨もありましたが、降水量は平均よりも低い数値となりました。5月に入ると最高気温が20℃以上になる日が継続し、まとまった降雨もありませんでした。

このような中、春子の収穫は3月上旬から中旬にかけてピークを迎え、以降は平均値と比較してかなり少なくなりました。3月上旬から中旬にかけて収穫されたシイタケは、傘に亀裂のある冬菇系の割合が高い傾向でしたが、4月以降は薄物の割合が比較的高い状況でした。

発生傾向は詳しくは次ページに掲載しています。

◆初期活着期の降水量について

植菌時期の降雨量(3~4月)は平年より少ない傾向(図2④)でした。5月の降水量についても平年よりも少ない状況ですが、梅雨に入りましたので、早急に本伏せを行いましょう。

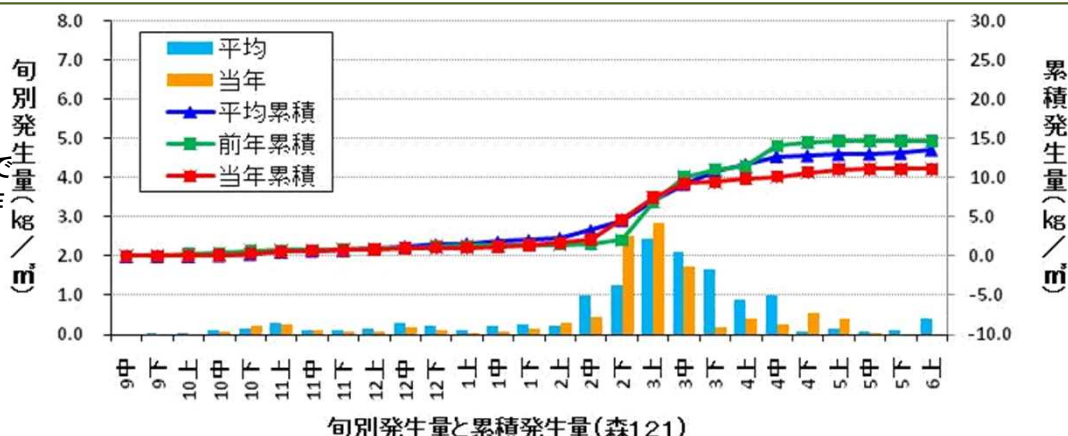
2 きのごグループにおける固定品種栽培試験発生状況（旬別発生量と累計発生量）

横軸は9月からの発生シーズンを旬ごとに示しています。左側の縦軸は、棒グラフで、ほだ木材積1m³当たりの旬別発生量(kg)で、平均値と当年の発生量を表示しています。なお、発生量は1代あたりです。

右側の縦軸は、折れ線グラフで、ほだ木材積1m³当たりの累積発生量(kg)で、平均値、前年、当年のデータを表示しています。発生量は1代あたりです。棒グラフは、人工ほだ場と林内ほだ場の発生量の平均値で示しています。なお、発生段階での水分管理は行っていません。

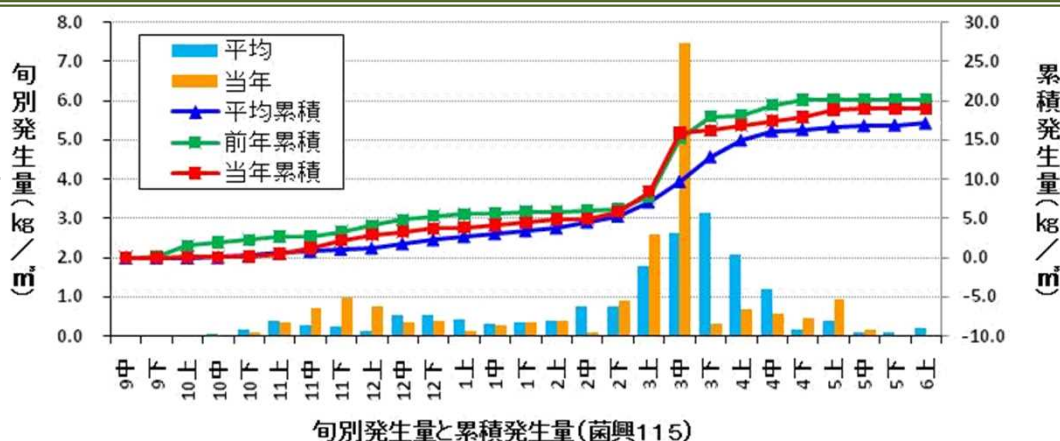
森121

3月下旬以降の収穫量は大きく減少しましたが、4月下旬から5月上旬は平均値よりやや多い結果でした。5月13日に調査は終了し、昨年秋季以降の発生累計は平均値の82%、昨年比75%でした。冬期の低温の影響で発生開始が遅く、3月の高温少雨で後半の収穫量が少ない結果になりました。



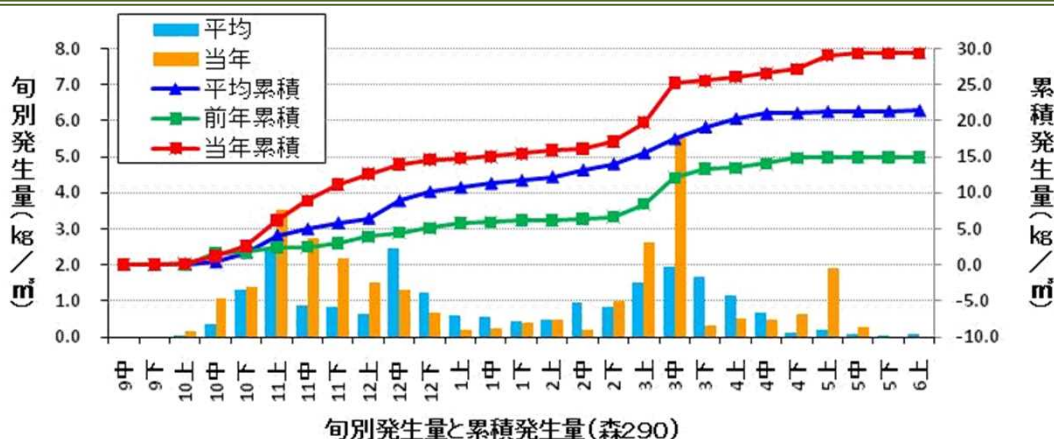
菌興115

3月中旬に集中発生し、収穫量は平年値の2倍以上になりましたが、以降の収穫量は少ない結果になりました。5月13日に調査は終了し、昨年秋季以降の発生累計は平年値の111%、昨年比94%でした。



森290

3月中旬に集中発生し、収穫量は平年値の2倍以上になりました。以降の収穫量は少ない状況で推移しましたが、5月上旬に比較的多とまった収穫がありました。5月13日に調査は終了し、昨年秋季以降の発生累計は平年値の137%、昨年比197%でした。



3品種平均

3月下旬以降の芽切りは少なく、収穫量は平均値と比較してかなり少なくなりました。4月下旬から5月上旬にかけては、平均値より多い収穫になりましたが、春子全体で見ると後半の発生が少なかった年と言えます。

昨年秋季以降の発生累計で見ると、中温性品種は平均値と比較して多い結果になりました。一方、低温性品種は昨年より少ない収穫量になりました。



3 ほだ化初期管理ついて

今年の九州北部地域の梅雨入りは、昨年よりも3日早く、平年よりも9日早い、5月27日頃となっています。

◆本伏せ中の管理

- ・直射日光が強くなってきています。笠木の量をチェックしましょう。
- ほだ木がちらちら見える程度になるまでかけましょう。
(笠木がしんなりとしている状態で30~40cmの厚さが目安)
- ほだ木の小口がよく見える場合は、両端の笠木を補充しましょう。特に西日が当たらないように注意しましょう。
- ・人工被陰材を使用している場合は、ほだ木から**最低15cmは隙間**を開けましょう。遮光率は75%程度のものがおすすめです。
- 直接ほだ木に掛けると高温障害を受け、しいたけ菌が死んでしまうことがあります。**
- ・強風の後には笠木をチェックし、飛ばされている場合は補充しましょう。
- 笠木が足りない場合は、周囲の雑木や人工被陰材も活用しましょう。



※人工被陰材を使うときは...

- ・直にほだ木に掛けない(間に枝付きの竹などを置くなど)
- ・雨通りを考慮する
- ・包み込まない(風の通りを良くしておく)
- ・横からの日射も防げるように



上部に細いほだ木を多めに積み、その上に角材を置いて遮光ネットを張っています。日当たりの良い場所は古いネットを重ね張りしています。雨当たりが均一になるようにネットにシワが寄らないように張っています。

4 第7回東部地区乾椎茸品評会について

日時:平成25年4月24日(水)

場所:国東市役所安岐支所

参加人数:118名

内容:表彰式、講演会

(講師:木原製作所 木原社長)

品柄	出品数	優等賞	1等賞	2等賞	3等賞	努力賞
どんこ	147	1	3	6	13	19
こうこ	110	1	3	5	10	13
こうしん	16	1	0	1	1	1
計	273	3	6	12	24	33

今年は1月から2月にかけて冷え込んだものの、定期的に降雨があり、また春子が採れ出す2月下旬から3月上旬にかけては比較的降雨量が少なかったことから、昨年よりも傘の明るい出品物が多かったように思います。今年は昨年を大きく上回る273点もの出品をいただきました。

また、「乾しいたけの乾燥方法について」と題した講演会は、省エネ乾燥機を販売されている山口市の乾燥機メーカー“株式会社木原製作所”の木原社長にお越し頂き、食品の乾燥について質問を受けながらお話し頂きました。

たくさんの皆様のご参加、ありがとうございました。全国品評会入賞を期待しています。



展示会場



表彰式

5 研修のご案内

今年も新規参入者の方を対象とした研修会を実施します。**ご近所で椎茸栽培を始める方、始めて間もない方がおられましたらご紹介ください。**

対象者	研修名	内容【期間】	申込期限
全く初心者の方	しいたけ新規参入者研修 (栽培基礎研修)	4日間【H25年度】 基礎的な講義と実習	H24. 7. 31(水)
本格的な就業を 考えている方	しいたけ新規参入者研修 (生産現場通型研修)	12日間【H25年度】 既存生産者の元で一連の作業を実習	

【参 考】単収アップを目指して

右のグラフは、1駒あたりの収量を7g(赤線)、10g(青線)と仮定した場合の、植菌数毎の利益(売上ー費用)を表しています。算出条件は下記のとおりです。

費用の算出方法については生産者の方々にそれぞれ異なるかと思いますが、下記のとおりと仮定した場合、年間100万円以上の利益を上げようと思うと、

単収 7g/駒の場合 年間 12万駒の植菌が必要
 単収 10g/駒の場合 年間 7万駒の植菌が必要
 → **5万駒分の差が生じる!!** (単収は1代あたり)

単収アップの為の必要経費(人件費等)は考慮していませんが、単収を上げるためにはほだ化管理がとても重要です。伏せ込み管理を丁寧に行いましょう。

◆算出基礎

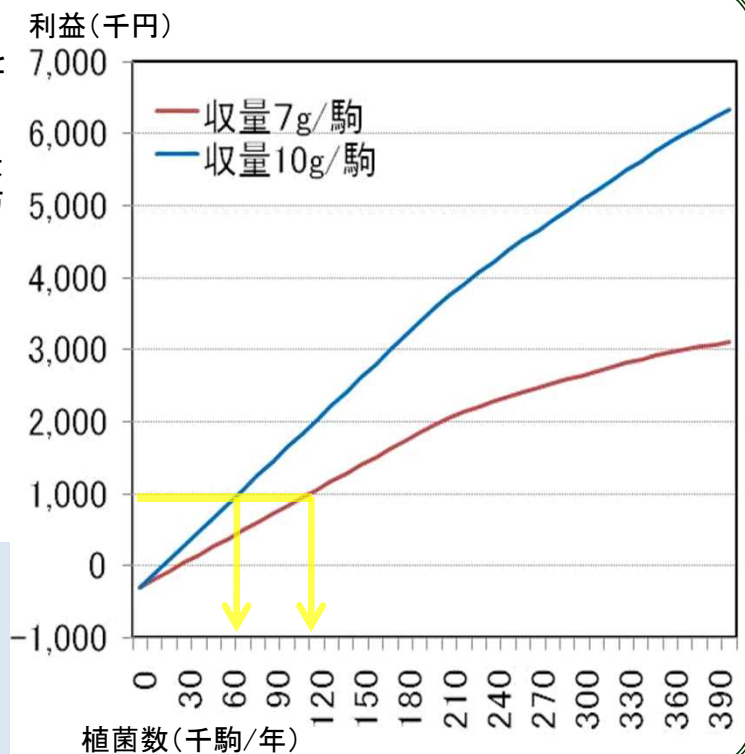
1本当たり植菌数:20駒、単価:3,400円/kg(H24平均単価)

1駒あたりのほだ木育成費用(原木代等):6.22円/駒

1駒あたりのきのこ生産費(乾燥等):

(7g/駒の時)5.53円/駒 (10g/駒の時)7.66円/駒

固定費(減価償却費):300,000円/年



6 その他

◆熱中症を防ぐために

- ①日陰などの涼しい休憩場所、休憩時間を確保しましょう
- ②自覚症状の有無にかかわらず、水・塩分を定期的に補給しましょう
- ③作業時間を少しずつ伸ばすなど、環境に身体を慣らしていきながら作業しましょう
- ④透湿性、通気性のよい服装、通気性の良い帽子(ヘルメット)を着用しましょう
- ⑤体調管理に心がけましょう

⚠熱中症になってしまったら

- 1 涼しい場所に避難させる
- 2 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 3 水分を補給する
- 4 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救助隊を要請しましょう

◆狩猟免許試験について

シカやイノシシなどの動物を捕獲するときは、狩猟免許が必要です(わな、銃どちらも)。

狩猟免許を取得して、獣害被害対策に猟をはじめてみませんか？

参考までに狩猟免許試験慣例の日程をご案内します。

試験を受ける際は、初心者講習会の受講(申込みの受け付け開始は7/1(月)から)をおすすめします。

詳しくは、大分県東部振興局森林管理班(TEL:0978-72-0156)までお問い合わせください。

試験日	受付期間	猟種	試験会場
8/17(土)	7/23(火)~8/5(月)	網猟・わな猟	杵築市健康福祉センター多目的ホール
8/18(日)		第一種・第二種銃猟	
9/14(土)	8/20(火)~8/30(金)	網猟・わな猟	大分県国東総合庁舎
10/12(土)	9/17(月)~9/30(月)	第一種・第二種銃猟	大分県庁本館 正庁ホール
10/13(日)		網猟・わな猟	



大分県東部振興局 農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班
 担当：宮本(国東市エリア) 伊藤(別府市杵築市日出町エリア)
 TEL:0978-72-0156 FAX:0978-72-3697